

平成26年度第2回林業研究所試験研究評価委員会評価結果

試験研究評価委員会における評価委員（学識経験者2名、林業経営者1名、建築設計士1名）の事後評価結果の概要は以下のとおりです。

森林被害防除のための調査研究

評価平均点 17.50点

【評価項目】

- 目的の達成度： ある程度目標を達成した(4)
得られた成果： 期待以上(1)、ある程度得られた(3)
成果の発展性： 大いに普及させる(3)、ある程度普及させる(1)
今後の進め方： 関連研究を積極的に発展させる(2)、発展させた方がよい(2)

【その他特記事項】

- ・最新技術と現象を予測するにはコンビネーションが重要。さらなる発展を期待する。
- ・考慮する因子をしばって効率的に研究の成果を上げることができないか。
- ・今回の調査結果を発展させ、効果的な防除、生息数管理のデータをまとめてほしい。
- ・森林被害予測の研究をもっと進めていただきたい。ほかの場所に適用する前に、当該調査地で 下層植生調査、被害調査、GPS データ再解析（滞在時間等、biologging 研究界では手法がある程度確立しているのではないか）を進め、研究をまとめると非常に質の高い研究になると思う。

間伐促進のための木質資源収穫コスト予測技術の開発

評価平均点 16.75点

【評価項目】

- 目的の達成度： ある程度目標を達成した(4)
得られた成果： ある程度得られた(4)
成果の発展性： 大いに普及させる(1)、ある程度普及させる(3)
今後の進め方： 関連研究を積極的に発展させる(2)、発展させた方がよい(2)

【その他特記事項】

- ・コスト問題は利用に対しても重要。大いに情報を発信してほしい。
- ・実態に即したコスト把握を科学的に計算できるという点は非常に評価できる。より現場で使えるものにブラッシュアップしてほしい。
- ・運材やバイオマスを含む木材利用の要素も考慮できると良い。
- ・ばらつきが大きくなる項目を提示し、それが、最終的に求められるコストにどの程度影響するかを示しておけば（当面）良いのではないか。さらなる発展を期待する。

高周波を利用した効率的な乾燥材生産技術等の開発宇

評価平均点 16.25 点

【評価項目】

目的の達成度： ある程度目標を達成した(4)

得られた成果： ある程度得られた(4)

成果の発展性： 大いに普及させる(1)、ある程度普及させる(3)

今後の進め方： 発展させた方がよい(4)

【その他特記事項】

- ・コストの問題は重要。装置のメーカーを含めて使いやすい乾燥機を開発してほしい。
- ・「セット+中温」が普及して、次に高周波の導入となるのか。まだまだという感じがする。
- ・試験後の材や実物を見せてほしい。
- ・成果は明確で高く評価したい。しかし、普及されるのはなかなか難しいことがわかった。ぜひ普及に向けて頑張ってもらいたい。